

## 第23期第1回 佐賀県有明海区漁業調整委員会 議事概要

1 日 時 令和7年4月24日(木) 15時30分から

2 場 所 佐賀県水産会館「中会議室」

3 出席者 佐賀県有明海区漁業調整委員

委員	西久保 敏
”	弟子丸 充 弘
”	中 島 浩 徳
”	香 月 博 司
”	筒 井 正 継
”	中 島 龍
”	大 鋸 幸 弘
”	竹 下 泰 彦
”	川 村 嘉 応

4 臨 席 者 佐賀県有明海漁業協同組合

指 導 部 部 長 有 馬 隆 文

指 導 部 次 長 下 田 貴 利

佐 賀 県 水 産 課

漁業調整担当係長 伊 藤 毅 史

漁港・漁村整備担当係長 江 口 勝 久

佐賀県海区漁業調整委員会事務局

事 務 局 長 荒 卷 裕

主 事 本 間 智 希

佐賀県有明水産振興センター

普 及 担 当 係 長 森 川 太 郎

資 源 研 究 担 当 係 長 神 崎 博 幸

## 5 議題及び議決事項

### (1) 会長及び会長職務代理者の選任について（協議）

⇒ 互選により会長に西久保委員、会長職務代理者に竹下委員が選任された。

### (2) 福岡佐賀有明海連合海区漁業調整委員会の委員の選任について（協議）

⇒ 委員構成は西久保会長、中島浩徳委員、香月委員、中島龍委員、大鋸委員、川村委員で決定した。

### (3) 佐賀県連合海区漁業調整委員会の委員の選任について（協議）

⇒ 委員構成は西久保会長、弟子丸委員、筒井委員、中島龍委員、竹下委員、川村委員、山口委員で決定した。

### (4) 有明海四県漁業調整協議会の委員の選任について（協議）

⇒ 委員構成は西久保会長、川村委員で決定した。

### (5) サルボウに係る試験養殖について（協議）

⇒ 原案どおり承認された。

### (6) 委員会指示の適用除外について（協議）

#### 1 佐賀県有明海漁業協同組合

⇒ 原案どおり承認された。

#### 2 佐賀市上下水道局

⇒ 原案どおり承認された。

#### 3 鹿島市

⇒ 原案どおり承認された。

#### 4 佐賀市

⇒ 原案どおり承認された。

#### 5 東京久栄

⇒ 原案どおり承認された。

### (7) 令和7年度水産振興事業計画について（報告）

⇒ 佐賀県水産課から報告された。

### (8) その他

⇒ 事務局から次回の委員会の日程等について説明が行われた。

## 6 各議題の説明者及び質疑応答の概要

### (1) 説明者

議題 1	荒巻事務局長
議題 2	本間主事
議題 3	本間主事
議題 4	本間主事
議題 5	森川係長
議題 6 - 1	神崎係長、下田次長
議題 6 - 2	本間主事
議題 6 - 3	本間主事
議題 6 - 4	本間主事
議題 6 - 5	本間主事
議題 7	江口係長
議題 8	荒巻事務局長

### (2) 質疑応答

#### 【議題（1）について】

質疑無し

#### 【議題（2）について】

質疑無し

#### 【議題（3）について】

質疑無し

#### 【議題（4）について】

質疑無し

#### 【議題（5）について】

(中島龍委員) 去年試験したけども稚貝が全然いないということですか。

⇒ (森川係長) 令和7年2月に調査をしたのですが、稚貝は確認できませんでした。

かなり小さい時は動くと言われていいますので、それも一つの要因かと。

(竹下委員) 3, 0 0 0 m<sup>2</sup>だと竹は何本くらいなのですか。

⇒ (森川係長) 今年度は1 m<sup>2</sup>あたり1本で3, 0 0 0本です。

**【議題（6－1）について】**

（川村委員）過去と比較して、現在のウミタケの生息状況はどうなっているのでしょうか。

⇒（神崎係長）場所によりけりです。造成地の近くは去年より増えているのかなと思います。

**【議題（6－2）について】**

質疑無し

**【議題（6－3）について】**

（川村委員）適用除外する委員会指示に62号が入っていないのはなぜですか。

⇒（荒巻事務局長）調査時期が5月でノリ養殖施設が無いからです。

**【議題（6－4）について】**

質疑無し

**【議題（6－5）について】**

質疑無し

**【議題（7）について】**

（竹下委員）ウミタケの造成は、漁港で浚渫して泥を持ってくるのではなく、ここで浚渫して造成するということですか。

⇒（江口係長）そうです。一方方向に掘って、盛るという形になります。

（川村委員）採苗器設置を沖合に10,000本というのは聞いたことがないのですが、どういう根拠でされるのですか。

⇒（江口係長）サルボウの浮遊幼生は沖合にも飛んでいます。沖合でもサルボウが増えないかの新たなチャレンジです。

（川村委員）海底耕耘が少し浅いという意見を聞くのですけどいかがですか。

⇒（江口係長）海底耕耘は様々な方法があり、この方法が一番良いというのは示せていないのですが、それぞれの地先で創意工夫して実施していただいて、その前後のデータを収集します。

**【議題（8）について】**

質疑無し